

# “はじめよう！「段ボールコンポスト」” 実施結果！

平成30年10月1日 神戸市リサイクル工房あづま

夏休みの期間を利用して「段ボールコンポスト」を活用することで、家庭から出る「燃えるごみ」をどれくらい減らすことができるのか90世帯のご家族に挑戦していただきました。

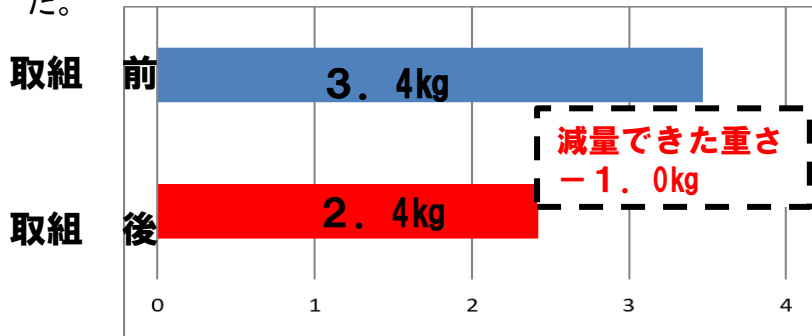
## 【実施方法】

- ① 7月20日～8月3日（1～2週目）は、なにもせずにごみの重さを量りました。
- ② 8月3日～8月17日（3～4週目）は、「段ボールコンポスト」をはじめ、ごみの重さを量りました。

ご参加いただいた半数以上にあたる52世帯のご家族から重さの記録と感想を書いた報告書をいただきましたので、内容をご紹介します。

## ○こんなに減りました！！

ごみ出し1回あたりの重さの平均を段ボールコンポストに取り組む前と後で比較してみると下のグラフのようになりました。



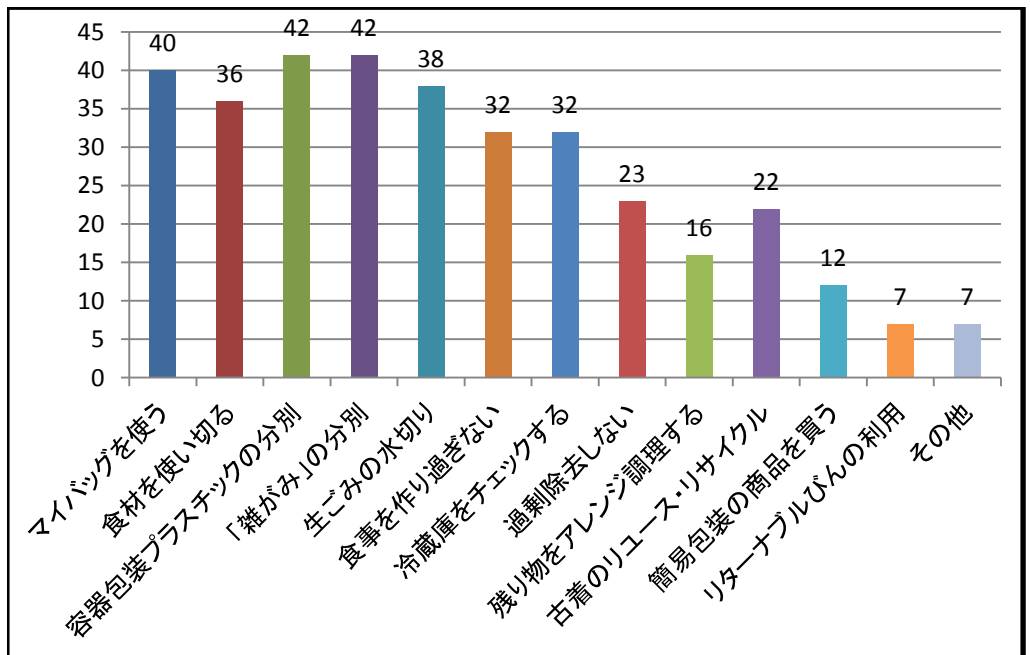
報告いただいた92%の世帯がごみの減量に成功したんやで！



## ○コンポストの他にも、こんな減量方法に取り組んでみました！

(世帯数)

※複数回答あり



家庭でできる減量方法はいろいろあるのね。



お寄せいただいた感想の中から、一部をご紹介しますいただきます。

### ○ごみについてたくさん考えました

- ・ ぜんぜんごみの重さを知らなかったから前半4回分で18キロもあってびっくりした。後半は8キロで10キロもへってびっくりした。
- ・ 雑がみやプラスチックごみの分別をがんばったからもえるごみがへった。
- ・ 野菜のごみ、果物のごみは一番重い。
- ・ 野菜の皮はかわかしてから捨てるとかさがへった。
- ・ 新聞に水気をすわせてかわかしてからごみをすてるしゅうかんがついた。少しでもプラヘリサイクルできるように、おかしのふくろをきれいにはらうようにした。



### ○段ボールコンポストってすごい！

- ・ ダンボールコンポストに生ごみを入れる時、なんだかペットにえさをあげている気分だった。次の日生ごみがへっているとうれしかった。
- ・ 魚の内臓やあたまはすぐになくなったけどジャガイモの皮やトウモロコシのひげはとけずにのこってます。
- ・ フタを開けると「もわっ」とした空気が出てきたのでコンポストの中の温度がとても高くなっていました。
- ・ 虫が入らないようにしっかりふたをしめました。声をかけながらまぜました。
- ・ たい肥になったら庭で野菜や花を育てるのに使いたい。
- ・ ダンボールコンポストのいいところはしげんが家の中でまわること。



### ○こんなことにも気づいたよ

- ・ ごみがとても多く食べ残しがたくさんあってむだだとおもった。
- ・ 生ごみをダンボールコンポストにしたり雑がみを分別したり、ようきほうそう、プラスチックのごみを分別することで、40%ももえるゴミがへった。
- ・ これから野菜の皮をむきすぎないようにしたい。
- ・ たべのこしはしないけど、いらぬものを買わずにあまりさせてくさらせてすてることが多い。



### ○家族で一緒に！

- ・ ごみばこの横に雑がみ入れをおいて家族みんなで取り組むと2週間でたくさんでた。
- ・ ダンボールコンポストを組み立てるのがむずかしかったので、お父さんと弟にてつだってもらった。
- ・ 毎日くさい生ごみを手で入れるのはいやだったけど、家族みんなで協力してくれた。
- ・ ごみをへらしたい！という思いからいつもより「水切り」「分別」「食べ残しゼロ」を意識できたと思います。(母より)



### ○少し困ったことも・・・

- ・ 小バエが何日かたつと出てきました。生ごみを入れるのをとめて米ぬかを入れました。何日かたつと小バエはいなくなりました。

#### リサイクル工房あづまより

初めてごみ出しを手伝ったり重さをはかった人が多かったようです。観察記録の写真や観察ノートのコピーを同封してくれたお友達も多くいました。

自分たちにできる方法でごみを減らしていきましょう。

